



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

### イエメン：サーレ八大統領の訪米

(5月1日付「サウラ」紙)

#### 1. IMF 専務理事との会談

- (1) 4月30日、訪米中のサーレ八大統領は、ロドリゴ・ラト IMF 専務理事と会談し、IMF の対イエメン支援、昨年11月ロンドンで開催されたCG 会合の結果、イエメン政府が取り組む経済、財政、行政改革について意見交換を行った。IMF 専務理事は、イエメンは経済、財政、行政改革において目に見える成果を達成し、透明性向上と汚職撲滅に取り組んでおり、IMF としてイエメンの開発努力に対する継続した支援を行う用意がある旨を確認した。又、イエメンの民主化への取り組みに関しても高く評価した。
- (2) サーレ八大統領は、イエメンの開発努力に対する IMF の更なる支援を要請すると共に、先般開催されたイエメン投資促進会議が大成功を収めた旨を述べ、イエメン政府として経済、財政、行政改革を更に進め、投資を促進する方針であると述べた。

#### 2. 世界銀行総裁との会談

- (1) サーレ八大統領は引き続き、ウォルフォウィッツ世界銀行総裁と会談し、世銀の対イエメン支援について意見を交換した。世銀総裁は、イエメンが採掘産業透明化イニシアティブ (EITI) 実施のための手続を行っていることを高く評価した。
- (2) サーレ八大統領は、世銀の対イエメン支援に謝意を表明し、引き続き更なる支援の拡大を期待している旨述べた。

#### 3. FBI 長官との会談

- (1) サーレ八大統領は、ロバート・ミュラー-FBI 長官と会談し、テロ対策及び治安分野における協力関係に関して意見交換を行った。FBI 長官は、イエメンのテロ対策における成果を高く評価し、米国はイエメンの努力に継続して協力する用意がある旨を述べた。
- (2) 同大統領は、テロ支援容疑で米国に拘束されているモアイヤド師 (注：アル・カーイダ支援容疑で米国で拘束されているイエメン慈善団体代表) とその助手のイエメンへの引渡しを要請した。又、ジンダーニ師 (注：イエメンの野党第一党イスラーハ党の幹部で、国連によりアル・カーイダ支援者として、その海外資本凍結措置がとられている) をテロ支援者リストから外すよう要請した。

#### 4. USAID 副長官との会談

- (1) サーレ八大統領は、ジェームズ・カンダー-USAID 副長官と会談し、保健、教育、農業、環境、貿易、投資分野における更なる支援を要請した。又、同大統領は、貧困はテロの温床であるとし、経済開発を含む開発の促進はテロ対策の促進となると述べた。
- (2) USAID 副長官は、イエメンの経済、財政、行政改革及び民主化への努力を高く評価した。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799